

平成22年2月8日開催
調 査

経済福祉常任委員会資料

調査事件12 その他所管に関する事項について
(ナマコ稚仔購入に対する助成について)

産業課水産グループ

ナマコ稚仔購入に対する助成について

1. 現況と課題

平成 21 年末の漁業協同組合の組合員数は 223 人（内準組合員 7 人）であります。

漁獲取扱高は養殖昆布が中心であり、他管外の取扱を含み 18 億 5422 万円あります。

前浜におけるウニ等の漁業は 172 人が営んでおり、その内ナマコ漁業に従事する漁業者は 37 人である。

漁業者の年齢は 60 歳以上が 146 名で全体の 65.5%、平均年齢 64 歳であり、前浜漁業への依存度も高くなっている現状にあります。

この対策として漁業協同組合においてナマコの稚仔を購入し、前浜に放流の計画をいたしております。

この計画による前浜資源の増大と漁業者所得向上が期待されるものです。

○漁業組合員の年齢構成

(資料:平成 21 年末現在 漁組資料)

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	計	平均年齢
(人) 人数	3	9	21	44	59	71	16	223	64.0
(%) 比率	1.4	4.0	9.4	19.7	26.5	31.8	7.2	100	

○ナマコ漁業者の年齢構成

(資料:平成 21 年末現在 漁組資料)

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	計	平均年齢
(人) 人数	1		6	8	9	12	1	37	61.7
(%) 比率	2.7		16.2	21.6	24.3	32.5	2.7	100	

漁 獲 取 扱 高 推 移 表

漁協業務報告書

	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
	数 量(t)	金 額(千円)	数 量(t)	金 額(千円)	数 量(t)	金 額(千円)	数 量(t)	金 額(千円)
ひらめ	17	27,218	19	28,253	22	43,399	15	21,818
ます	53	15,875	20	14,604	18	11,919	20	13,561
たこ	73	40,764	114	58,930	75	37,790	119	47,623
ほっけ	100	3,724	34	1,740	37	2,238	55	3,336
やりいか	143	101,382	272	210,698	118	81,889	33	35,897
生いか	366	91,027	402	83,720	206	46,262	261	60,139
うに	71	68,243	113	109,164	84	92,842	102	106,831
さけ	5	1,460	4	1,138	0	47	2	617
まぐろ	76	214,104	95	290,215	71	261,438	48	152,845
ソイ・油子	22	16,849	20	16,717	22	13,091	23	15,962
かれい類	2	908	4	1,773	2	1,037	2	675
なまこ	4	8,586	11	20,615	3	7,695	5	8,401
その他鮮魚	5	2,316	20	6,380	6	1,339	3	782
計	937	592,456	1,128	843,947	664	600,986	688	468,487
あわび	1	9,571	1	3,473	2	11,849	1	9,415
つぶ	0	77	0	54	0	95	1	273
計	1	9,648	1	3,527	2	11,944	2	9688
天然こんぶ	23	23,851	12	18,447	17	19,548	9	10,018
養殖こんぶ	374	659,693	373	680,979	406	614,400	335	439,654
天然わかめ	2	1,378	1	417	1	839	1	536
養殖わかめ	0	30						
その他海藻	1	585	2	1,588	3	2,473	1	1,137
小計	400	685,537	388	701,431	427	637,260	346	451,345
合計	1,338	1,287,641	1,517	1,548,905	1,093	1,250,190	1,036	929,520
その他	2,817	826,000	3,351	865,379	3,532	904,868	3,784	924,706
合計	4,155	2,113,641	4,868	2,414,284	4,625	2,155,058	4,820	1,854,226

1 ナマコ漁獲及び価格の推移

ナマコ漁獲量の推移

(資料 漁組 単位 t:千円)

地 区	区 分	H18	H19	H20	H21
吉 岡	数 量	2	6	2	2
	金 額	4,767	10,544	4,196	4,144
	平均単価	2,383	1,757	2,098	2,072
福 島	数 量	2	5	1	3
	金 額	3,819	10,071	3,499	4,257
	平均単価	1,909	2,014	3,499	1,419
合 計	数 量	4	11	3	5
	金 額	8,586	20,615	7,695	8,401
	平均単価	2,146	1,874	2,565	1,680

2. ナマコ価格について

○当地区のナマコの価格は他地区に比べて安定はしていない。

要因としては、市場の動向もあるが、3月から9月まで漁業協同組合で禁漁期間を設けております。

ナマコ産卵は8月末~9月に行われるが、当町のナマコ漁の解禁が10月であるため放卵後のナマコ採取となります。したがって品質が劣り干製品の歩留まりも劣るとの市場評価であります。また、当地区の漁法はタモ、ハサミによる採取であり、ダイバーにより採取している地区のナマコと比べると品質が劣り価格にも影響を及ぼす要因の一つでもあります。

3. ナマコ稚仔購入事業実施計画書

年 度	放流先	種苗購入費 (千円)	その他 (千円)	総事業費 (千円)	2年後残 留率 (%)	2年後 残留数量 (個)	漁獲時残 留率 (%)	漁獲時 残留数量 (個)	漁獲率 (%)	推定漁獲 個数(個)	個体重量 (g)	漁獲量 (kg)	単価 (円)	金額 (千円)
	放流個数(個)													
平成 22 年度	白符漁港	2,625	374	2,999	47	23,500	80	18,800	60	11,280	150	1,692	2,066	3,670
	50,000													
平成 23 年度	浦和漁港	2,625	747	3,372	47	23,500	80	18,800	60	11,280	150	1,692	2,066	3,670
	50,000													
平成 24 年度	吉岡漁港	5,250	1,121	6,371	47	47,000	80	37,600	60	22,560	150	3,384	2,066	7,341
	100,000													
合 計		10,500	2,242	12,742		94,000		75,200		45,120		6,768		14,681
	200,000													

※単価については、平成18年～平成21年の平均単価である。

※放流後の初期減耗後、以降年間80%残留し、漁獲対象年の2年後とする。残留率、漁獲率については、北海道立栽培水産試験場、北海道立稚内水産試験場、平成21年3月発行「ナマコ人工種苗の陸上育成マニュアル」による。

4. 開発計画及び平成22年度の予算について

第4次福島町総合開発計画は現在審査特別委員会で審議中ではありますが、本事業を追加搭載とし、また予算については平成22年度の当初予算に計上致したい。

5. 資料

①漁業協同組合の平成21年貸借対照表(案)、損益計算書(案)

②有限会社海鮮倶楽部の企業概要

※当日配布します。